

2025年度事業報告書

(2025年4月1日～2026年3月31日)

1. 事業の成果

佐賀県からの委託事業である「佐賀県高次脳機能障害者相談支援センターぷらむ」を開所して10年が経過し、センターの運営を通じ、医療から福祉、そして生活の場へと繋ぐ確かなパイプラインとしての役割を果たした。通年通りの相談業務や家族会を通し、単に既存の福祉サービスを案内するだけでなく、当事者一人ひとりの希望や当事者家族の本音に耳を傾け、ケースバイケースのベストマッチングを模索し続けることで、より良い日常生活の定着と社会復帰支援をおこなった。

昨年度は予定外の事務所移転という大きな転機を経て、新しい環境の中で地域の窓口担当者や支援者の理解を深めるための啓発活動・研修会を継続的に実施。これらの活動を通して、地域における高次脳機能障害への「正しい理解の底上げ」を図るとともに、当事者の精神面の安定や、家族内での困難な状況を予防・解消するために地域支援機関等との関係を強め、協力することが出来た。

令和7年は「高次脳機能障害者支援法」が承認され、また、佐賀県でも高次脳機能障害支援養成研修会が開始されたりと、大きな動きが見えてきた年となり、ぷらむ佐賀の存在感が増した年度となった。

2. 事業実績

A) 相談・支援

高次脳機能障害に関する日常生活の諸問題についての相談受付、解決法の提示、及び解決に向けての活動を実施。

- 場所：佐賀県佐賀市高木瀬西3丁目3-16-1（2025年9月移転）
- 事業日程：相談業務受付 通年 火曜～土曜（9時30分～17時）
- 従事者：1名（相談支援専門員）
- 対象：高次脳機能障害当事者、家族、行政福祉等の関係者

相談方法	電話	来所	メール	その他
	165	40	16	11

のべ相談人数 232名 のべ相談件数 504件

B) 主催

- ① 研修会開催

「2025（令和7）年度 高次脳機能障害研修会」

日 時：令和8年2月8日（日）13：30～

場 所：アバンセ4階第3研修室A

講 師：古川 寛和 氏（長光園障害者センター）

飯田このみ 氏（佐賀県立地域生活リハビリセンター）

船津丸涼子 氏（ワーカーズ・佐賀）

座 長：松尾 崇史 先生（熊本保健科学大学准教授）

テーマ：「もう一度働きたいを叶えるために」

参加者：40名

- ② 支援会議開催：3回（10名）就労復職に関して
家族の疲弊に伴う当事者の生活支援について（2回）
- ③ 家族会開催：3回（46名）
- ④ 勉強会開催：2回（6名）当事者の金銭管理に関して（2回に分けて実施）
- ⑤ その他
 - 事務所移転
 - 会報誌「なかま」10周年記念誌発行
 - リーフレットの配布による啓発活動
 - スタッフ1名退職に伴う人事処理及び求人活動

C) 協力

- ① 協議会等参加
 - ・令和7年度 第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会
 - ・令和7年度 第1回高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議
日 時：令和7年7月2日（Web会議）

 - ・令和7年度 第2回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会
 - ・令和7年度 第2回高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議
日 時：令和8年2月13日（Web会議）

 - ・令和7年度 第1回佐賀地区自立支援協議会全体会議
日 時：令和7年8月8日
場 所：佐賀市役所大和支所（Web会議）
内 容：令和6年度下半期相談窓口実績報告
令和6年度下半期会議報告

 - ・令和7年度 第2回佐賀地区自立支援協議会全体会議
日 時：令和8年1月30日

場 所：佐賀市エコプラザ 2階会議室
内 容：令和7年度上半期相談窓口実績及び会議報告
地域生活支援拠点当の整備について

- ・令和7年度 高次脳機能障害者支援連絡会議
日 時：令和7年6月24日（1回目）／10月18日（2回目）
場 所：佐賀大学医学部附属病院 付帯施設棟2階カンファレンスルーム
- ・令和7年度 九州ブロック会議 （オブザーバーとして参加）
日 時：令和8年1月15日
場 所：オンライン会議
内 容：宮崎県からの報告と各県との情報交換
- ・地域支援拠点機関会議（志田病院）参加
日 時：令和7年12月23日
場 所：志田病院

② 講演

- ・高齢者施設（さつき苑）で講演
日 時：令和7年10月28日
場 所：佐賀市多布施1丁目 多布施3号館
テーマ：「高次脳機能障害の症状についてと対応方法」
参加者：スタッフ・介護士等 20名
- ・ライフモビリティ支援講座 キックオフシンポジウムにてスピーチ
日 時：令和7年12月6日
場 所：佐賀大学鍋島校
テーマ：「高次脳機能障害者と自動車運転」

③ 講習会等参加

- ・第2回高次脳機能障害リハビリテーション講習会
日 時：令和8年1月18日
場 所：佐賀県社会福祉会館
- ・令和7年度 高次脳機能障害支援養成研修（指導者研修）受講
日 時：令和7年7月9日～10日
場 所：国立障害者リハビリテーションセンター学院 （zoom研修）

④ 支援会議参加 6回 (33名)

- ・復職支援
- ・今後の生活拠点について
- ・当事者の症状について
- ・運転再開について 等

3. 令和7年度 見えてきた課題

- 高次脳機能障害そのものや支援制度への認知不足
- 支援機関の協力で事業所等への紹介が進んだが、受入側の障害理解が不足しているケースもあり、当事者との問題が発生していることがある
- 自動車運転再開に関して、具体的な対応をしてくれる病院(自動車運転可否判断)や自動車学校の紹介を求められることが増加してきた
- 佐賀市近郊以外の高次脳機能障害者やその家族より、佐賀県地域生活リハビリセンターのような高次脳機能障害のリハビリ専門機関を求める声が多くなった